

# 平成31年度 専攻科学生募集要項

## 〔 専攻科案内 〕 出願書類

推薦による 選抜	出願期間	平成30年5月7日(月)～11日(金)
	試験実施日	平成30年5月19日(土)
	合格発表日	平成30年5月24日(木)
	入学確約書提出期限	平成30年6月1日(金)
学力試験に よる選抜	出願期間	平成30年6月11日(月)～15日(金)
	試験実施日	平成30年6月23日(土)
	合格発表日	平成30年6月28日(木)
	入学確約書提出期限	平成31年1月18日(金)
社会人 特別選抜	出願期間	平成30年11月19日(月)～22日(木)
	試験実施日	平成30年12月1日(土)
	合格発表日	平成30年12月6日(木)
	入学確約書提出期限	平成31年1月11日(金)



独立行政法人国立高等専門学校機構

福島工業高等専門学校

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30

TEL 0246-46-0721 (学生課入試係)

FAX 0246-46-0742 (学 生 課)

URL <http://www.fukushima-nct.ac.jp/>



# 目 次

## 〔専攻科学生募集要項〕

I 入学者受入方針	1
II 募集人員	2
III 選抜方法	2
IV 特別な配慮を必要とする入学志願者との事前相談	2
V 高等専門学校長の推薦による選抜	2
VI 学力試験による選抜	5
VII 社会人特別選抜	9
VIII 個人情報の利用について	11
IX 東日本大震災に伴う検定料免除について	11
別表1 英語に関する「推薦選抜・社会人特別選抜」の出願基準と提出書類	12
別表2 英語に関する提出書類（学力試験選抜）	13
◎検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合について	14

## 〔専攻科案内〕

1 専攻科の目的	17
2 専攻及び入学定員	17
3 修業年限及び修了要件等	17
4 学位（学士）の取得	17
5 専攻科のディプロマポリシー（修了認定方針）	17
6 専攻科のカリキュラムポリシー（教育課程編成方針）	19
7 専攻科の科目構成	22
8 専攻科の入学及び進路状況	26
9 入学時に必要な諸経費（予定）	26
10 入学料・授業料の免除	27
(1) 入学料免除	27
(2) 授業料免除	27
11 奨学金制度	27
12 復興人材育成特別プログラム	27

## 〔出願書類〕

1 専攻科入学願書	2 写真票・受験票	3 推薦書(推薦選抜用)
4 承諾書(社会人特別選抜用)	5 調査書	
6 専攻科志望調査書(推薦選抜用・社会人特別選抜用)		



# 平成31年度 専攻科学生募集要項

## I 入学者受入方針

入学者受入方針(アドミッションポリシー)は、下記の望ましい学生像にふさわしい人を入学させることです。

### 望ましい学生像

#### 全専攻

1. 専門の知識と基礎技術を有し、より高度な実践的かつ創造的技術を修得する意欲のある人
2. 工学と経営の融合した分野に強い興味を持っている人
3. 職業人としての倫理観を身につけ、専門分野で地域及び社会の発展に貢献したい人

#### 産業技術システム工学専攻

##### 【生産・情報システム工学コース】

1. 機械・電気の専門的な基礎力を有し、機械・情報を活用した創造的なモノづくりに興味を持っている人
2. 生産・情報分野の技術者としての素養を身につけ、豊かな社会の発展に貢献することに意欲を持っている人

##### 【エネルギーシステム工学コース】

1. 機械・電気の専門的な基礎力を有し、エネルギー分野に興味を持っている人
2. エネルギー分野の技術者としての素養を身につけ、豊かな社会の発展に貢献することに意欲を持っている人

##### 【化学・バイオ工学コース】

1. 応用化学分野・生命工学分野及びそれらの関連分野の学修と研究に打ち込み、先端技術に柔軟に対応できる知識とスキルを修得したい人
2. 工学を修める者としての確かな倫理観を持ち、工学の発展及び地域・社会の環境改善に貢献したい人

##### 【社会環境システム工学コース】

1. 建設・環境工学の研究に打ち込み、先端技術に柔軟に対応する知識とスキルを修得したい人
2. 確かな倫理観を持ち、工学の発展及び地域・社会の環境改善に貢献したい人

#### ビジネスコミュニケーション学専攻

##### 【ビジネスコミュニケーション学コース】

1. 現代社会への幅広い関心を持ち、社会科学の研究と、語学や情報、環境問題などの関連分野の学習に打ち込む意欲を持っている人
2. たしかなコミュニケーション能力と情報リテラシーを身につけ、地域社会と国際社会の垣根をこえてグローバルに活躍する意欲のある人

## 入学者選抜の基本方針

高等専門学校卒業程度の、各専門で必要な基礎的素養(工学系では、数学、各専門分野の基礎的知識・能力、ビジネス系では社会科学と専門分野の基礎的知識・能力)を有していることを重視します。

また外国語による国際的コミュニケーション基礎能力を有していることも重視します。

## II 募集人員

産業技術システム工学専攻	20名
ビジネスコミュニケーション学専攻	5名
計	25名

## III 選抜方法

入学者の選抜は、「高等専門学校長の推薦による選抜」、「学力試験による選抜」及び「社会人特別選抜」とし、次のとおり実施します。

選 抜 区 分	選 抜 試 験 日
高等専門学校長の推薦による選抜	平成30年5月19日(土)
学力試験による選抜	平成30年6月23日(土)
社会人特別選抜	平成30年12月1日(土)

## IV 特別な配慮を必要とする入学志願者との事前相談

本校では、受験及び修学上の特別な配慮を必要とする入学志願者のための相談を行っています。

相談を希望する入学志願者は、それぞれの入学願書受付期日1ヶ月前までに本校学生課入試係へ「特別措置申請書」を提出してください。必要に応じた適切な配慮を行います。「特別措置申請書」は、申し出があった時点で送付します。

特に、点字受験又は代筆による解答を希望する場合及び車椅子の使用など、事前に打ち合わせが必要な場合については、出願前の早い時期に申し出てください。

相談の内容及び時期によっては、試験までに対応できず、特別措置による受験ができなくなることもありますので、ご了承ください。

## V 高等専門学校長の推薦による選抜

### 1. 出願資格

(1) 次の各号のいずれにも該当し、高等専門学校長の推薦を得た者

- ① 平成31年3月に高等専門学校卒業見込の者
- ② 本校に合格した場合、確実に入学する意思がある者
- ③ 4学年次全科目の評価を下記の「内申点換算基準」により換算した内申点の平均点(小数点第2位を切り捨て)が4.2以上の者又は4学年次の席次が学科内順位50%以内の者  
優……5      良……4      可……3

(2) 英語において、別表1に挙げる各テスト・検定の証明書等を有し、出願基準を満たしている者

### 2. 出願手続

(1) 入学願書受付期間

- ① 期 間：平成30年5月7日(月)～5月11日(金)まで

受付時間は、9時から16時(郵送の場合は5月11日(金)16時必着)までとします。

- ② 場 所：福島工業高等専門学校 学生課入試係

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30

TEL：0246-46-0721 FAX：0246-46-0742

(2) 出願書類：出願に必要な書類は、次のとおりです。

①入学願書	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
②受験票	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
③写真票	本校所定の用紙に最近3カ月以内に撮影した上半身、正面脱帽の写真(4.5cm×3.5cm)を貼付し、所定の事項を記入したもの。
④推薦書	本校所定の用紙により、在籍(出身)学校長が作成し、厳封したもの。
⑤調査書	本校所定の用紙により、在籍(出身)学校長が作成し、厳封したもの(高等学校から高等専門学校に編入学した者については、出身高等学校の調査書を添付すること)。
⑥志望調査書	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
⑦英語の資格に関する証明書等	別表1に示す証明書等について、所有する全てのテスト・検定の書類(各テスト・検定の最高位のもの)の原本及び写しを提出してください。原本は確認後返却します。
⑧検定料	16,500円 本校所定の「検定料納入書」に必要事項を記入の上、金融機関から振込み、「検定料納入書」(高専提出用)を出願書類に同封してください。なお、ATM(現金自動預払機)、携帯電話及びパソコン等からの振込みはできませんので、ご注意ください(郵便局およびゆうちょ銀行から振り込む場合は14頁「検定料を郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合について」をご覧ください)。 また、既納の検定料は以下の場合以外、いかなる理由があっても返還しません。 ・検定料を納付したが出願しなかった又は出願が受理されなかった場合 ・検定料を誤って二重に払い込んだ場合 なお、東日本大震災に伴う入学者選抜の検定料免除に係る臨時措置は、平成29年度入学者選抜試験をもって終了となりました。
⑨返信用封筒(受験票返送用)	志願者の郵便番号・住所・氏名等を記入し82円切手を貼付したもの。ただし、出願書類等を持参する場合は不要です。
⑩その他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の発行する「外国人登録原票記載事項証明書」を提出してください。

(3) 出願に関する注意事項

- ① 願書提出後は、記載事項の変更は認めません。なお、受理した出願書類は、返還しません。
- ② 出願書類の記載事項と相違した事実が判明した場合は、入学許可後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 郵送する場合は、「簡易書留郵便」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。

### 3. 選抜の方法

入学者の選抜は、在籍学校長から提出された推薦書、調査書、志望調査書及び英語の資格並びに面接(専門科目に関する口頭試問を含む)の結果を総合判定して行います。

#### 4. 面接試験の日時及び場所

期 日	試験区分	時 間	場 所
平成 30 年 5 月 19 日 (土)	面 接 (口頭試問を含む)	9:15~	福島工業高等専門学校 (いわき市平上荒川字長尾 30)

※面接は、1人15分程度です。

#### 5. 受験上の注意事項

- (1) 面接当日は、8時40分までに受付を済ませてください。9時から全体説明を行いますので、時間までに指定された受験者控室に入室してください。
- (2) 交通機関の混乱等、不測の事態に備え、受験者はあらかじめ十分な対策を講じておいてください。
- (3) 受験票及び筆記用具は、必ず持参してください。

#### 6. 合格者の発表

平成30年5月24日(木)午前10時に合格者の受験番号を本校に掲示するとともに、学校長あてに合否を文書で通知し、あわせて合格者には、「合格通知書」を送付します。また、本校のホームページにも掲載します。

なお、電話等による合否の照会には、応じられませんのでご注意ください。

#### 7. 「高等専門学校長の推薦による選抜」に合格しなかった者の取扱い

「高等専門学校長の推薦による選抜」の結果、合格とならなかった者で「学力試験による選抜」の受験を希望する者は、「学力試験による選抜」に定めるところにより、再度出願の手続きを行ってください。

ただし、「調査書」及び「外国人登録原票記載事項証明書」の再提出は要しませんが、検定料は必要です。

#### 8. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を平成30年6月1日(金)17時必着で本校学生課入試係へ提出してください。

なお、期限までに「入学確約書」を提出しない者は、入学の意思がないものとして取り扱います。

#### 9. 入学手続等

入学手続日、入学に必要な書類等については、「入学確約書」提出者に、後日通知します。



## VI 学力試験による選抜

### 1. 出願資格

(1) 次の各号のいずれかに該当する者

- ① 高等専門学校を卒業した者及び平成 31 年 3 月に卒業見込の者
- ② 短期大学を卒業した者及び平成 31 年 3 月に卒業見込の者
- ③ 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第 132 条の規定により大学に編入することができる者
- ④ 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む）の専攻科の課程を修了した者のうち、学校教育法施行規則第 177 条 1 項の規定により大学に編入学することができる者
- ⑤ 外国において、学校教育における 14 年の課程を修了した者
- ⑥ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了した者
- ⑦ 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑧ その他本校専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者  
(注) 審査によって認定された科目及び専攻科教育課程表の科目だけでは専攻科の修了要件を満たさない場合は、不足の科目の補講等を受講し、学力試験を受け、定められた基準で合格しなければなりません。

(2) 英語において、別表 2 に挙げる各テスト・検定の証明書等を有している者

### 2. 出願手続

(1) 入学願書受付期間

- ① 期 間：平成 30 年 6 月 11 日(月)～6 月 15 日(金)まで

受付時間は、9 時から 16 時（郵送の場合は 6 月 15 日(金)16 時必着）までとします。

- ② 場 所：福島工業高等専門学校 学生課入試係  
〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾 30  
TEL：0246-46-0721 FAX：0246-46-0742

(2) 出願書類：出願に必要な書類は、次のとおりです。

①入学願書	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
②受験票	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
③写真票	本校所定の用紙に最近3カ月以内に撮影した上半身、正面脱帽の写真(4.5cm×3.5cm)を貼付し、所定の事項を記入したもの。
④調査書	本校所定の用紙により、在籍(出身)学校長が作成し、厳封したもの。
⑤英語の資格に関する証明書等	別表2に示す証明書等について、所有する全てのテスト・検定の書類(各テスト・検定の最高位のもの)の原本及び写しを提出してください。原本は確認後返却します。

⑥検 定 料	<p>16,500円</p> <p>本校所定の「検定料納入書」に必要事項を記入の上、金融機関から振込み、「検定料納入書」（高専提出用）を出願書類に同封してください。なお、ATM（現金自動預払機）、携帯電話及びパソコン等からの振込みはできませんので、ご注意ください（郵便局およびゆうちょ銀行から振り込む場合は14頁「検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合について」をご覧ください）。</p> <p>また、既納の検定料は以下の場合以外、いかなる理由があっても返還しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検定料を納付したが出願しなかった又は出願が受理されなかった場合</li> <li>・検定料を誤って二重に払い込んだ場合</li> </ul> <p>なお、東日本大震災に伴う入学者選抜の検定料免除に係る臨時措置は、平成29年度入学者選抜試験をもって終了となりました。</p>
⑦返信用封筒 (受験票返送用)	<p>志願者の郵便番号・住所・氏名等を記入し82円切手を貼付したもの。ただし、出願書類等を持参する場合は不要です。</p>
⑧その他	<p>現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の発行する「外国人登録原票記載事項証明書」を提出してください。</p>

### (3) 出願に関する注意事項

- ① 願書提出後は、記載事項の変更は認めません。なお、受理した出願書類は、返還しません。
- ② 出願書類の記載事項と相違した事実が判明した場合は、入学許可後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 郵送する場合は、「簡易書留郵便」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。

## 3. 選抜の方法

入学者の選抜は、学力試験、出身学校長から提出された調査書、英語の資格（提出された書類の点数等を得点に換算し、これらが複数ある場合には、最も高い得点を採用し、学力点とみなす）及び面接の結果を総合判定して行います。

### (1) 学力試験・面接等の日時及び場所 平成30年6月23日(土)

科 目 等	時 間	場 所
数 学 また は 小 論 文	9:00 ~ 10:30	福島工業高等専門学校 (いわき市平上荒川字長尾30)
専 門 科 目	10:50 ~ 12:50	
面 接 に 関 す る 説 明	14:10 ~ 14:20	
面 接	14:20 ~	

※面接は、1人10分程度です。

### (2) 学力試験科目及び出題範囲

専 攻 名	科 目	出 題 範 囲	備 考
産業技術システム工学専攻	数 学	基礎数学、線形代数、微分積分、 応用数学（①確率・統計、②ベクトル解析、③複素関数 3科目のうちから1科目選択）	必 須

	専門科目	①工業力学, ②材料力学, ③水力学, ④電気磁気学 ⑤電子回路, ⑥情報工学, ⑦物理化学・分析化学・無機化学 ⑧有機化学・生化学, ⑨構造力学, ⑩環境工学 ⑪土木計画学	左欄の11科目のうち 2科目選択
ビジネスコミュニケーション学専攻	小論文	社会に関するテーマ 小論文 (1200字程度)	必須
	専門科目	①経営学, ②基礎会計学, ③数学 (微分積分, 確率・統計)	左欄の3科目のうち 1科目選択

(注) 英語の資格に関する換算方法は下記のとおりとする。(小数点第1位を四捨五入する)

1. TOEIC

・産業技術システム工学専攻

1) 250～400点の場合

TOEIC 250点～400点を, 20点～80点に比例配分する。

$$(X-200) \div (400-200) \times 80$$

2) 400点以上の場合

TOEIC 400点～600点を, 80点～100点に比例配分し, TOEIC 600点以上を一律100点とする。

$$(X-400) \div (600-400) \times 20 + 80$$

3) 249点以下・・・0点

・ビジネスコミュニケーション学専攻

TOEIC 250点～800点を, 0点～100点に比例配分する。

1) 250～800点の場合

$$(X-250) \div 5.5$$

2) 800点以上は一律100点とする

3) 249点以下・・・0点

2. TOEFL (産業技術システム工学専攻, ビジネスコミュニケーション学専攻共通)

TOEFL のスコアを下記の公表換算式を使って TOEIC のスコアに置きかえ, その TOEIC のスコアを1の方法に従って換算する。

$$*TOEIC \text{ のスコア} \times 0.348 + 296 = TOEFL \text{ のスコア (PBT)}$$

(IBTのスコアの換算方法については, 本校学生課入試係へ問い合わせること。)

3. 実用英語技能検定

それぞれの級を下記のように換算する。

・産業技術システム工学専攻

3級・・・0点

準2級・・・40点

2級・・・90点

準1級以上・・・100点

・ビジネスコミュニケーション学専攻

3級・・・0点

準2級・・・40点

2級・・・60点

準1級以上・・・100点

#### 4. 受験上の注意事項

- (1) 試験当日は、8時40分までに受付を済ませてください。8時45分から全体説明を行いますので、時間までに指定された受験者控室に入室してください。
- (2) 交通機関の混乱等、不測の事態に備え、受験者はあらかじめ十分な対策を講じておいてください。
- (3) 受験票及び筆記用具は、必ず持参してください。

#### 5. 合格者の発表

平成30年6月28日(木)午前10時に合格者の受験番号を本校に掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。また、本校のホームページにも掲載します。

なお、電話等による合否の照会には、応じられませんのでご注意ください。

#### 6. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を下記の期限までに本校学生課入試係に提出してください。

なお、期限までに「入学確約書」を提出しない者は、入学の意思がないものとして取り扱います。

入学確約書提出期限 平成31年1月18日(金)17時必着

#### 7. 入学手続等

入学手続日、入学に必要な書類等については、「入学確約書」提出者に、後日通知します。

## Ⅶ 社会人特別選抜

### 1. 出願資格

- (1) 次の各号のいずれかに該当する者で、かつ出願時において企業等の在職経験が1年以上ある者
- ① 高等専門学校を卒業した者
  - ② 短期大学を卒業した者
  - ③ 専修学校の専門課程を修了した者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入することができる者
  - ④ 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む）の専攻科の課程を修了した者のうち、学校教育法施行規則第177条1項の規定により大学に編入学することができる者
  - ⑤ 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
  - ⑥ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者
  - ⑦ 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
  - ⑧ その他本校専攻科において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者  
 （注）審査によって認定された科目及び専攻科教育課程表の科目だけでは専攻科の修了要件を満たさない場合は、不足の科目の補講等を受講し、学力試験を受け、定められた基準で合格しなければなりません。
- (2) 英語において、別表1に挙げる各テスト・検定の証明書等を有し、出願基準を満たしている者

### 2. 出願手続

#### (1) 入学願書受付期間

- ① 期 間：平成30年11月19日(月)～22日(木)まで  
 受付時間は、9時から16時(郵送の場合は、11月22日(木)の16時必着)までとします。
- ② 場 所：福島工業高等専門学校 学生課入試係  
 〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾30  
 TEL：0246-46-0721 FAX：0246-46-0742

#### (2) 出願書類：出願に必要な書類は、次のとおりです。

①入学願書	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
②受験票	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
③写真票	本校所定の用紙に最近3カ月以内に撮影した上半身、正面脱帽の写真(4.5cm×3.5cm)を貼付し、所定の事項を記入したもの。
④推薦書又は 在職経験に関する 証明書等	企業等に在職のまま出願を希望する者は、本校所定の用紙により、所属長が作成した承諾書を提出してください。それ以外の者は、企業等の在職経験が1年以上あることを証明する書類を提出してください(様式は自由)。
⑤調査書	本校所定の用紙により、出身学校長が作成し、厳封したもの。
⑥志望調査書	本校所定の用紙に志願者が必要事項を記入したもの。
⑦英語の資格に 関する証明書等	別表1に示す証明書等について、所有する全てのテスト・検定の書類(各テスト・検定の最高位のもの)の原本及び写しを提出してください。原本は確認後返却します。

⑧検 定 料	<p>16,500円</p> <p>本校所定の「検定料納入書」に必要事項を記入の上、金融機関から振込み、「検定料納入書」（高専提出用）を出願書類に同封してください。なお、ATM（現金自動預払機）、携帯電話及びパソコン等からの振込みはできませんので、ご注意ください（郵便局およびゆうちょ銀行から振り込む場合は14頁「検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合について」をご覧ください）。</p> <p>また、既納の検定料は以下の場合以外、いかなる理由があっても返還しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検定料を納付したが出願しなかった又は出願が受理されなかった場合</li> <li>・検定料を誤って二重に払い込んだ場合</li> </ul> <p>なお、東日本大震災に伴う入学者選抜の検定料免除に係る臨時措置は、平成29年度入学者選抜試験をもって終了となりました。</p>
⑨返信用封筒 (受験票返送用)	<p>志願者の郵便番号・住所・氏名等を記入し82円切手を貼付したもの。ただし、出願書類等を持参する場合は不要です。</p>
⑩その他	<p>現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の発行する「外国人登録原票記載事項証明書」を提出してください。</p>

### (3) 出願に関する注意事項

- ① 願書提出後は、記載事項の変更は認めません。なお、受理した出願書類は、返還しません。
- ② 出願書類の記載事項と相違した事実が判明した場合は、入学許可後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 郵送する場合は、「簡易書留郵便」とし、封筒の表に「専攻科出願書類在中」と朱書してください。

### 3. 選抜の方法

入学者の選抜は、所属長から提出された推薦書、調査書、志望調査書及び英語の資格並びに面接（専門科目に関する口頭試問を含む）の結果を総合判定して行います。

### 4. 面接試験の日時及び場所

期 日	試験区分	時 間	場 所
平成 30 年 12 月 1 日(土)	面 接 (口頭試問を含む)	9:15~	福島工業高等専門学校 (いわき市平上荒川字長尾 30)

※面接は、1人30分程度です。

### 5. 受験上の注意事項

- (1) 面接当日は、8時40分までに受付を済ませてください。9時から全体説明を行いますので、時間までに指定された受験者控室に入室してください。
- (2) 交通機関の混乱等、不測の事態に備え、受験者はあらかじめ十分な対策を講じておいてください。
- (3) 受験票及び筆記用具は、必ず持参してください。

### 6. 合格者の発表

平成30年12月6日(木)午前10時に合格者の受験番号を本校に掲示するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。また、本校のホームページにも掲載します。

なお、電話等による合否の照会には、応じられませんのでご注意ください。

## 7. 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、「入学確約書」を下記の期限までに本校学生課入試係に提出してください。

なお、期限までに「入学確約書」を提出しない者は、入学の意思がないものとして取り扱います。

入学確約書提出期限 平成 31 年 1 月 11 日(金)17 時必着

## 8. 入学手続等

入学手続日、入学に必要な書類等については、「入学確約書」提出者に後日通知します。

## 9. 長期履修学生制度

本専攻科では、職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを願い出た者については、審査の上許可することがあります。

この制度の適用者は「長期履修学生」といい、当該学生の授業料支払総額は標準修業年限による修了者と同じです。

この制度の詳細については、本校学生課入試係に問い合わせてください。

## Ⅷ 個人情報の利用について

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的等にも利用しますのでご了承ください。

- (1) 入学後の教育・指導
- (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (3) 奨学金申請の審査
- (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

## Ⅸ 東日本大震災に伴う検定料免除について

東日本大震災に伴う検定料免除は、平成 29 年度入学者をもって終了しました。平成 30 年度入学者選抜試験以降の受験者への適用はありませんのでご注意ください。

## 福島工業高等専門学校 専攻科入学者選抜

## 英語に関する「推薦選抜・社会人特別選抜」の出願基準と提出書類

下表に示すスコア・級について、所有する全てのテスト・検定の書類（各テスト・検定の最高位のもの）の原本及び写しを提出してください。原本は確認後返却します。

テスト・検定の種別		出願基準 (推薦・社会人用)	提出書類
TOEIC	TOEIC 公開テスト	産業技術システム工学専攻 300 点以上 ビジネスコミュニケーション学専攻 600 点以上	公式認定証 (Official Score Certificate)
	福島高専で実施した TOEIC-IP	産業技術システム工学専攻 300 点以上 ビジネスコミュニケーション学専攻 600 点以上	個人成績表 (Score Report)
TOEFL	TOEFL PBT (Paper-Based Test)	産業技術システム工学専攻 400 点以上 ビジネスコミュニケーション学専攻 500 点以上	公式スコア表 (Official Score Report) もしくは 受験者用控えスコア表 (Examinee Score Record)
	TOEFL IBT (Internet-Based Test)	産業技術システム工学専攻 32 点以上 ビジネスコミュニケーション学専攻 62 点以上	
実用英語技能検定		準 2 級以上	合格証明書

\*TOEIC・TOEFL については、各選抜試験実施日からさかのぼって 2 年を過ぎたものについては無効とします。

\*出願後のスコアや級の差し替えは認めません。



別表2

福島工業高等専門学校 専攻科入学者選抜

英語に関する提出書類（学力試験選抜）

下表に示すスコア・級について、所有する全てのテスト・検定の書類（各テスト・検定の最高位のもの）の原本及び写しを提出してください。原本は確認後返却します。

テスト・検定の種別		提出書類
TOEIC	TOEIC 公開テスト	公式認定証 (Official Score Certificate)
	福島高専で実施した TOEIC-IP	個人成績表 (Score Report)
TOEFL	TOEFL PBT (Paper-Based Test)	公式スコア表 (Official Score Report) もしくは 受験者用控えスコア表 (Examinee Score Record)
	TOEFL IBT (Internet-Based Test)	
実用英語技能検定		合格証明書

\*TOEIC・TOEFL については、各選抜試験実施日からさかのぼって2年を過ぎたものについては無効とします。

\*出願後のスコアや級の差し替えは認めません。

◎検定料を郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合について

検定料を郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合は次のような条件がありますので、ご利用の際はご注意ください。

- (1) ゆうちょ銀行から検定料を振り込む場合は現金での振り込みはできず、口座からの振り込みのみ可能となっておりますのでご注意ください。ご利用の際は、「通帳とお届け印」または「キャッシュカード」が必要となります。
- (2) 募集要項に添付されている本校所定の振込依頼書は使用できません。窓口で、ゆうちょ銀行専用の振込依頼書を受け取り、必要事項を記入して窓口から振り込みください。振り込みの際は、振り込み先を確認しますので、本校所定の振込依頼書も持参ください。なお、振り込み手数料はご負担ください。
- (3) 振り込み後は、窓口で「振替払出請求書預金口座振替による振込受付書」(以下、「振込受付書」という)を受領してください。また、出願の際にはこの振込受付書を出願書類に同封してください。振込受付書はコピーを取り、コピーは大切に保管してください。
- (4) 検定料の振り込みを、ゆうちょ銀行ATM(現金自動預払機)からは行わないでください。

ゆうちょ銀行専用の振込依頼書(サンプル)

**振込依頼書(兼振替払出請求書)[電信扱い]** 「ゆうちょ銀行」以外の銀行宛

※本件から振込み出金しないようにポールのペンをはずしご記入ください。※口座振替は、該当の項目に印をつけてください。  
※振込口座の番号は宛先に記載のある方からご記入ください。

ご振込日  年  月  日 ※料金は、振込金とは別に、払出口座の預り金からいただきます。  
※お受取人負担のお取扱いはできません。

金額		振付	振替	振替	振込名	支店
振込金額		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
振込項目	<input type="checkbox"/> 1普通(普通) <input type="checkbox"/> 2払戻 <input type="checkbox"/> 3貯蓄 <input type="checkbox"/> 4貯蓄 <input type="checkbox"/> 9その他	口座	振替	金額		
フリガナ						
おなまえ						様

振込金額	5万円未満	5万円以上
料金(約)振込	848円	864円

おとこ 様

フリガナ

おなまえ 様

日中  
の  
家  
先  
番  
号

振込  
番  
号

おとこ 様

おなまえ 様

振出  
口座  
番号

おとこ 様

おなまえ 様

振出  
口座  
番号

おとこ 様

おなまえ 様

振込金額  
合計金額

振込料金  
合計金額

〒(郵便局番号)

ゆうちょ銀行

- ・ご依頼人には受検者の氏名を記載してください。
- ・福島高専には「お客様控え」を提出してください。

# 専攻科案内



## 1 専攻科の目的

本校の専攻科は、福島工業高等専門学校における5年一貫教育という特徴を生かした、教育課程のうえに、精深な程度において、学際的領域や広い視野に目を向けた高度な専門的学術を教授研究し、もって豊かな教養と人格を備え、広く産業の発展に寄与する人材を育成します。

## 2 専攻及び入学定員

産業技術システム工学専攻	20名
ビジネスコミュニケーション学専攻	5名
計	25名

## 3 修業年限及び修了要件等

- (1) 専攻科の修了に必要な単位数は、一般科目 6 単位以上、専門関連科目 14 単位以上、専門科目 42 単位以上、合計 62 単位以上とする。
- (2) 教育課程表に定める必修科目をすべて修得していること。
- (3) 教育課程表に定める選択必修科目は、所定の科目数以上を修得していること。
- (4) 学会等で特別研究に関する内容を発表していること。
- (5) 英語に関しては、「現代英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の内から2科目以上修得すること。ただし、専攻科入学後に TOEIC400 点以上、英検 2 級以上、TOEFL435 点以上又はこれらに相当すると認められる英語能力を取得した場合は、1科目以上修得すること。

※この条文については、平成 30 年度専攻科入学生より適用する。

## 4 学位（学士）の取得

高等専門学校卒業生等が本校の専攻科で2年以上在学して所定の62単位以上を修得し、大学改革支援・学位授与機構の審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力を有すると認められた場合は、学士の学位が取得できます。ただし、専攻科入学前の取得科目により、大学改革支援・学位授与機構が定める専攻に係わる授業科目・単位が不足するときには、他の高等教育機関等でそれらを取得する必要があります。

## 5 専攻科のディプロマポリシー（修了認定方針）

本校では、以下の「養成する人材像」に示す人材を育成する教育内容を学習し、「修了時に身につけるべき資質能力」を身に付け、所定の単位を修得し、修了要件を満たした学生に対して修了を認定します。

### ○養成する人材像

#### 【工学系学科と産業技術システム工学専攻】

- ①十分な基礎学力の上に専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できるエンジニア
- ②イノベーションに即応するために、問題解決のみならず課題探究できるエンジニア
- ③モノづくりと環境保全の調和に配慮し、持続可能な社会の発展に貢献できるエンジニア
- ④グローバルなコミュニケーション能力を備え、ビジネス系の知識も獲得した実践的エンジニア

#### 【ビジネス系学科とビジネスコミュニケーション学専攻】

- ①自己実現ができるビジネス・スペシャリスト

- ②グローバルなコミュニケーション能力を有するビジネス・スペシャリスト
- ③論理的思考に優れたビジネス・スペシャリスト
- ④長期的な視野をもち、持続可能な社会の実現に貢献するビジネス・スペシャリスト

○専攻科課程の各専攻で養成する人材像

**【産業技術システム工学専攻】**

本科の機械システム工学科，電気電子システム工学科，化学・バイオ工学科，都市システム工学科のそれぞれの専門分野の基礎学力を充実させ，その応用性や専門性を深める。

また復興人材育成特別プログラムにより地域復興に活躍できる人材を育成する。

本専攻は次の4つのコースから成る。

**<生産・情報システム工学コース>**

機械系・電気系の材料工学分野及び機械加工系，電子・情報工学系を融合した教育・研究を行う。機械設計関連，システム制御関連，電子物性関連及び情報関連分野に関するより高度で応用性の高い専門科目を学び生産・情報分野で活躍できる人材を育成する。

このコースの教育研究は復興人材育成特別プログラムのロボット技術，メカトロニクス，防災通信等と密接に関係しており，これらの分野で地域の復興に活躍できる人材も育成する。

**<エネルギーシステム工学コース>**

機械系・電気系のエネルギー関連分野の教育・研究を行う。エネルギー分野に関するより高度で応用性の高い専門科目を学び，機械・電気関連のエネルギー分野で活躍できる人材を育成する。

このコースの教育研究は復興人材育成特別プログラムの再生可能エネルギー分野，原子力安全工学分野にも密接に関係しており，エネルギー関連産業で活躍できる人材も育成する。

**<化学・バイオ工学コース>**

応用化学分野・生命工学分野及びそれらの関連分野の教育・研究を行う。化学・バイオ工学科（準学士課程）専門分野の基礎学力をさらに充実させたいうえで，その専門性を高める。さらに，現代の応用化学分野・生命工学分野及びそれらの関連分野における先端技術やその動向に柔軟に対応できる人材の養成を目指す。

このコースの教育・研究は，復興人材育成特別プログラムの放射線計測関連分野に関係しており，廃炉技術の重要な一分野である放射線及び放射性物質の取扱いに必要な種々の基本的な学識を修めさせることも目標としている。

**<社会環境システム工学コース>**

建設・環境系の教育・研究を行う。土木工学と環境工学に関する専門知識を修得し，さらに関連科目の履修を通して複眼的視野を深める。これらを通して日々進化する先端技術に柔軟に対応しつつ，環境に配慮することのできる建設技術を身につけた人材の養成を目指す。

このコースの教育研究は，復興人材育成特別プログラムの減災工学分野に関係しており，まちを災害から守る技術分野や災害復興に取り組む分野で活躍することのできる人材の育成も行う。

**【ビジネスコミュニケーション学専攻】**

準学士課程のビジネスコミュニケーション学科の専門的な基礎学力を充実させ，その応用性や専門性を深めることで，地域社会の発展に貢献するとともに，グローバルに活躍できる人材を育成する。本専攻は次の1つのコースから成る。

**<ビジネスコミュニケーション学コース>**

準学士課程のビジネスコミュニケーション学科で習得した社会学系知識の応用力を育み，さら

に専門性を深める科目を履修する。くわえて、工学系とビジネス系のシナジー効果を期待できる科目を履修することにより、工学の基礎知識と国際社会で通用するビジネスコミュニケーション能力を併せ持つ人材の育成をめざす。また、復興人材育成特別プログラムをはじめとするカリキュラムにより、社会の持続可能性に配慮しながら地域社会の発展に貢献するとともに、たしかにコミュニケーション能力と国際感覚をもち、地域社会と国際社会の垣根をこえてグローバルに活躍する人材を育成する。

○専攻科修了時に身に付けるべき学力や資質・能力

1. 地球的視野から人や社会や環境に配慮できる能力を養うための倫理・教養
2. 工学およびビジネスの幅広い基礎知識の上に、融合・複合的な専門知識を修得し、知識創造の時代に柔軟に対応できる能力
3. 工学系科目ービジネス系科目の協働（シナジー）効果により、複眼的な視野を持って自ら工夫して新しい産業技術を創造できる能力
4. 情報収集や自己学習を通して常に自己を啓発し、問題解決のみならず課題探究する能力
5. モノづくりやシステムデザイン能力を生かした創造的実践力
6. 情報技術を活用した、国際社会で必要なコミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力

## 6 専攻科のカリキュラムポリシー（教育課程編成方針）

本校では、「学習教育目標」「ディプロマ・ポリシー」に定めた能力を身につけるため、次のような教育課程の編成方針、および成績評価基準に基づいて教育を実施します。

○編成方針

- (1) 準学士課程（本科）においては、くさび型※の構成であり、「学習教育目標」「ディプロマ・ポリシー」を身に付けるための必修科目、選択科目を適切に設定した、5年一貫の体系的な教育課程を編成する。

専攻科においては、準学士課程の内容からの接続、発展を考慮した、より高度な教育課程を編成する。

※くさび型の教育課程：低学年次においては一般科目を多く配置し、学年の進行に伴い専門科目を多く配置する教育課程

- (2) 「ディプロマ・ポリシー」に定めた能力を深化させるため、高学年、および専攻科においては、モノづくり、校外での体験、問題解決能力の養成等に関する科目を開設する。
- (3) 教育課程を編成するに当たっては、全学年で基本的な知識・技能の修得、それらを応用し思考、判断する能力の修得、それらを自発的に学習できる態度・志向性を修得できるように配慮して、科目配置や科目毎の授業内容や授業計画を設計しシラバスに記載し、シラバスにしたがい教育を実施する。

○成績評価基準

- (1) 科目の成績評価は、定期試験の成績および平常の成績をもとに行う。評価方法はシラバスに記載し、記載された評価方法に基づいて公平に成績評価を実施する。
- (2) 科目の成績評価結果は100点法で行い、60点以上を合格とする。
- (3) 各科目について、成績評価が60点以上の場合は単位の修得を認定する。

○専攻科課程 各専攻、コースごとの教育課程編成方針

ディプロマポリシーで掲げた能力を育成するために、各専攻各コースでは、以下の科目群を系統的に編成する。

**【産業技術システム工学専攻】**

**<生産・情報システム工学コース>**

このコースでは、専攻の分野ごとに以下の科目群を編成する。

・機械工学

- (1) 専門基礎科目：応用解析学，力学総論，応用塑性加工学，品質工学，制御システム工学など
- (2) 技術習得に関する科目：生産・情報システム工学実験など
- (3) 課題探究能力育成科目：システムデザイン演習，特別研究Ⅰ，特別研究Ⅱなどの課題設定とその解決能力や応用力，コミュニケーション力やチームワーク力といった総合的能力を養うための科目
- (4) 専攻の分野に関連する科目：産業財産権，産業技術論，科学技術史，製品開発論などの他分野の科目
- (5) 専攻外の科目：倫理学，ビジネス英語，現代英語Ⅰ，製品開発論，生産管理論，都市経済学，現代化学などの科目

・電気電子工学

- (1) 専門基礎科目：数理計画論，応用電子制御工学，制御システム工学，情報科学論，産業応用情報工学など
- (2) 技術習得に関する科目：生産・情報システム工学実験など
- (3) 課題探究能力育成科目：システムデザイン演習，特別研究Ⅰ，特別研究Ⅱなどの課題設定とその解決能力や応用力，コミュニケーション力やチームワーク力といった総合的能力を養うための科目
- (4) 専攻の分野に関連する科目：産業財産権，産業技術論，科学技術史，製品開発論などの他分野の科目
- (5) 専攻外の科目：倫理学，ビジネス英語，現代英語Ⅰ，製品開発論，生産管理論，都市経済学，現代化学などの科目

**<エネルギーシステム工学コース>**

このコースでは、専攻の分野ごとに以下の科目群を編成する。

・機械工学

- (1) 専門基礎科目：応用解析学，力学総論，応用塑性加工学，品質工学，制御システム工学など
- (2) 技術習得に関する科目：エネルギーシステム工学実験など
- (3) 課題探究能力育成科目：システムデザイン演習，特別研究Ⅰ，特別研究Ⅱなどの課題設定とその解決能力や応用力，コミュニケーション力やチームワーク力といった総合的能力を養うための科目
- (4) 専攻の分野に関連する科目：産業財産権，産業技術論，科学技術史，製品開発論などの他分野の科目
- (5) 専攻外の科目：倫理学，ビジネス英語，現代英語Ⅰ，製品開発論，生産管理論，都市経済学，現代化学などの科目

・電気電子工学

- (1) 専門基礎科目：数理計画論，応用電子制御工学，制御システム工学，電力流通工学，応用電磁気学など
- (2) 技術習得に関する科目：エネルギーシステム工学実験など



- (3) 課題探究能力育成科目：システムデザイン演習，特別研究Ⅰ，特別研究Ⅱなどの課題設定とその解決能力や応用力，コミュニケーション力やチームワーク力といった総合的能力を養うための科目
- (4) 専攻の分野に関連する科目：産業財産権，産業技術論，科学技術史，製品開発論などの他分野の科目
- (5) 専攻外の科目：倫理学，ビジネス英語，現代英語Ⅰ，製品開発論，生産管理論，都市経済学，現代化学などの科目

#### <化学・バイオ工学コース>

- (1) 専門基礎科目：プロセス物理化学，応用材料化学，応用合成化学，現代分析化学，応用有機化学，構造物理化学，生体分子機能工学などの応用化学，生物学を基盤とした専門科目群
- (2) 技術習得に関する科目：化学・バイオ工学実験，インターンシップA・B・Cなどの実技・実習系科目
- (3) 課題探究能力育成科目：システムデザイン演習，特別研究Ⅰ・Ⅱなどの課題設定とその解決能力や応用力，コミュニケーション力やチームワーク力といった総合的能力を養うための科目
- (4) 専攻の分野に関連する科目：産業技術論，応用解析学，力学総論，材料科学，情報科学論，ビジネス英語などの他分野の科目
- (5) 専攻外の科目：倫理学，ビジネス英語，現代英語Ⅰ，製品開発論，生産管理論，都市経済学などの科目

#### <社会環境システム工学コース>

- (1) 専門基礎科目：構造解析論，維持・管理工学，地下空間工学，水工学，水環境工学，数理計画論などの土木工学や環境工学を基盤とした専門科目群
- (2) 技術習得に関する科目：社会環境システム工学実験，インターンシップA・B・Cなどの実技・実習系科目
- (3) 課題探究能力育成科目：システムデザイン演習，特別研究Ⅰ・Ⅱなどの課題設定とその解決能力や応用力，コミュニケーション力やチームワーク力といった総合的能力を養うための科目
- (4) 専攻の分野に関連する科目：産業技術論，応用解析学，力学総論，材料科学，情報科学論，科学技術史，ビジネス英語などの他分野の科目
- (5) 専攻外の科目：倫理学，ビジネス英語，現代英語Ⅰ，製品開発論，生産管理論，都市経済学，現代化学などの科目

#### 【ビジネスコミュニケーション学専攻】

##### <ビジネスコミュニケーション学コース>

- (1) 専門基礎科目：情報科学論，製品開発論，経営分析論，生産管理論，経営管理論，財務諸表論，広告メディア論，グローバル経営論
- (2) 技術習得に関する科目：システム論，データベース論，数理意思決定論
- (3) 課題探究能力育成科目：新事業開発，経営学演習，システムデザイン演習，特別研究Ⅰ，特別研究Ⅱなどの課題設定とその解決能力や応用力，コミュニケーション力やチームワーク力といった総合的能力を養うための科目
- (4) 専攻の分野に関連する科目：産業財産権，産業技術論，経済産業論，都市経済学などの他分野の科目
- (5) 専攻外の科目：倫理学，現代英語Ⅰ，現代英語Ⅱ，日本文化論，現代英語Ⅲ，現代科学，科学技術史，ビジネス英語，環境解析評価論，再生可能エネルギー工学，放射線工学，環境保全工学，産業安全工学総論，応用防災通信，原子力安全工学，減災工学，モノづくり概論などの科目

## 7 専攻科の科目構成

### 1. 一般科目・専門関連共通科目 各専攻共通

区分	必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当				備 考
				1年		2年		
				前期	後期	前期	後期	
一 般 科 目	必修 科目	倫理学	2	2				
		開 設 単 位 計	2	2		0		
	選択 必修 科目	現代英語Ⅰ	2	2				2科目以上選択 (本校が定める条件を満たせば1科目免除)
		現代英語Ⅱ	2		2			
		現代英語Ⅲ	2			2		
		開 設 単 位 計	6	4		2		
	選択 科目	日本文化論	2	2				
		グローバル研修	1		(1)			
		開 設 単 位 計	3	2(1)		0(1)		
		一 般 科 目 開 設 単 位 計	11	8(1)		2(1)		

( )の数字は開講期を指定しない単位で外数

区分	必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当				備 考
				1年		2年		
				前期	後期	前期	後期	
専 門 関 連 科 目	必修 科目	産業財産権	2	2				
		産業技術論	2		2			
		情報科学論	2		2			
		科学技術史	2			2		
		製品開発論	2				2	
		ビジネス英語	2				2	
		開 設 単 位 計	12	6		6		
	選択 科目	現代化学	2	2				
		システム論	2				2	
		環境解析評価論	2				2	
特別講義Ⅰ		1		(1)				
	特別講義Ⅱ	2		(2)				
	開 設 単 位 計	9	2(3)		4(3)			
	専 門 関 連 科 目 開 設 単 位 計	21	8(3)		10(3)			

( )の数字は開講期を指定しない単位で外数

### 2. 専攻科専門科目

#### 産業技術システム工学専攻 共通科目

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当				備 考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
必 修 科 目	生産管理論	2	2				
	応用解析学	2	2				
	力学総論	2	2				
	システムデザイン演習	2	2				
	数理計画論	2		2			
	材料科学	2			2		
	産業安全工学総論	2				2	復興人材育成科目
	インターンシップA	2		(2)			
	開 設 単 位 計	16	10(2)		4(2)		
選 択 科 目	インターンシップB	2		(2)			
	インターンシップC	2		(2)			
	開 設 単 位 計	4	(4)		(4)		
	開 設 単 位 合 計	20	10(6)		4(6)		

( )の数字は開講期を指定しない単位で外数

生産・情報システム工学コース 専門科目

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当				備 考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
必修 科目	特別研究Ⅰ	4	4				
	特別研究Ⅱ	10			10		
	生産・情報システム工学実験	2	2				
	応用電子制御工学	2	2				
	応用メカトロニクス	2			2	復興人材育成科目	
	開 設 単 位 計	20	8		12		
選択 必修 科目	品質工学	2	2				
	放射線工学	2		2		復興人材育成科目	
	応用塑性加工学	2			2		
	原子力安全工学	2			2	3科目以上修得 復興人材育成科目	
	産業応用情報工学	2			2		
	制御システム工学	2			2		
	応用防災通信	2				2	復興人材育成科目
	熱流体工学	2				2	
	開 設 単 位 計	16	4		12		
選択 科目	環境保全工学	2	2			復興人材育成科目	
	再生可能エネルギー工学	2		2		復興人材育成科目	
	減災工学	2			2	復興人材育成科目	
	電子物性工学	2				2	
	応用電磁気学	2				2	
	応用半導体工学	2				2	
	電力流通工学	2				2	復興人材育成科目
	都市経済学	2				2	復興人材育成科目
	開 設 単 位 計	16	4		12		
	開 設 単 位 合 計	52	16		36		

エネルギーシステム工学コース 専門科目

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当				備 考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
必修 科目	特別研究Ⅰ	4	4				
	特別研究Ⅱ	10			10		
	エネルギーシステム工学実験	2	2				
	応用電子制御工学	2	2				
	再生可能エネルギー工学	2		2		復興人材育成科目	
	開 設 単 位 計	20	10		10		
選択 必修 科目	品質工学	2	2				
	エネルギー変換工学	2	2				
	放射線工学	2		2		復興人材育成科目	
	応用塑性加工学	2			2		
	原子力安全工学	2			2	3科目以上修得 復興人材育成科目	
	産業応用情報工学	2			2		
	制御システム工学	2			2		
	電力流通工学	2				2	復興人材育成科目
熱流体工学	2				2		
	開 設 単 位 計	18	6		12		
選択 科目	環境保全工学	2	2			復興人材育成科目	
	応用メカトロニクス	2			2	復興人材育成科目	
	減災工学	2			2	復興人材育成科目	
	電子物性工学	2				2	
	応用電磁気学	2				2	
	応用半導体工学	2				2	
	応用防災通信	2				2	復興人材育成科目
	都市経済学	2				2	復興人材育成科目
	開 設 単 位 計	16	2		14		
	開 設 単 位 合 計	54	18		36		

化学・バイオ工学コース 専門科目

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当				備 考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
必修 科目	特別研究Ⅰ	4	4				
	特別研究Ⅱ	10			10		
	化学・バイオ工学実験	2	2				
	プロセス物理化学	2	2				
	放射線工学	2		2			
	開 設 単 位 計	20	10		10		復興人材育成科目
選択 必修 科目	環境保全工学	2	2				
	再生可能エネルギー工学	2		2			
	原子力安全工学	2			2		
	応用材料化学	2			2	3科目以上修得	
	応用合成化学	2			2		
	生体分子機能工学	2				2	
	開 設 単 位 計	12	4		8		
選択 科目	応用メカトロニクス	2			2		
	減災工学	2			2		
	構造物理化学	2			2		
	応用有機化学	2			2		
	現代分析化学	2			2		
	電力流通工学	2				2	
	応用防災通信	2				2	
	都市経済学	2				2	
	開 設 単 位 計	16	0		16		
開 設 単 位 合 計	48	14		34			

社会環境システム工学コース 専門科目

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当				備 考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
必修 科目	特別研究Ⅰ	4	4				
	特別研究Ⅱ	10			10		
	社会環境システム工学実験	2	2				
	環境保全工学	2	2				
	維持・管理工学	2				2	
	開 設 単 位 計	20	8		12		
選択 必修 科目	構造解析論	2	2				
	放射線工学	2		2			
	水工学	2			2	4科目以上修得	
	地下空間工学	2			2		
	減災工学	2			2		
	原子力安全工学	2			2		
	開 設 単 位 計	12	4		8		
選択 科目	再生可能エネルギー工学	2		2			
	応用メカトロニクス	2			2		
	水環境工学	2				2	
	電力流通工学	2				2	
	応用防災通信	2				2	
	都市経済学	2				2	
	開 設 単 位 計	12	2		10		
開 設 単 位 合 計	44	14		30			

ビジネスコミュニケーション学専攻 専門科目

必修 選択 の別	授 業 科 目	単位数	学年別配当				備 考
			1年		2年		
			前期	後期	前期	後期	
必 修 科 目	特別研究Ⅰ	5	5				
	特別研究Ⅱ	7			7		
	新事業開発	2	2				
	生産管理論	2	2				
	モノづくり概論	2	2				
	経営管理論	2		2			
	データベース論	2		2			
	経営学演習	2	2				
	システムデザイン演習	2	2				
	グローバル経営論	2			2		
	産業安全工学総論	2				2	復興人材育成科目
	インターンシップA	2		(2)			
	開 設 単 位 計	32	19(2)		11(2)		
選 択 科 目	財務諸表論	2	2				
	環境保全工学	2	2				復興人材育成科目
	広告メディア論	2		2			
	放射線工学	2		2			復興人材育成科目
	再生可能エネルギー工学	2		2			復興人材育成科目
	数理意思決定論	2			2		復興人材育成科目
	経済産業論	2			2		復興人材育成科目
	原子力安全工学	2			2		復興人材育成科目
	減災工学	2			2		復興人材育成科目
	経営分析論	2				2	
	応用防災通信	2				2	復興人材育成科目
	都市経済学	2				2	復興人材育成科目
	インターンシップB	2	(2)				
インターンシップC	2	(2)					
開 設 単 位 計	28	10(4)		14(4)			
開 設 単 位 合 計	60	29(6)		25(6)			

( )の数字は開講期を指定しない単位で外数

## 8 専攻科の入学及び進路状況

### (1) 専攻科の入学定員等

専攻科の各専攻の入学定員及び対応する準学士課程(基礎となる学科)は次のとおりです。

専攻科		準学士課程(基礎となる学科)	
専攻名	入学定員	学科名	入学定員
産業技術システム工学専攻	20人	機械工学科	40人
		電気工学科	40人
		物質工学科	40人
		建設環境工学科	40人
ビジネスコミュニケーション学専攻	5人	コミュニケーション情報学科	40人
計	25人	計	200人

### (2) 修了後の進路(過去3年 H28.3以降)

#### ①大学院への進学先等

北海道大学大学院 東北大学大学院 福島大学大学院 茨城大学大学院 宇都宮大学大学院  
 埼玉大学大学院 東京工業大学大学院 東京農工大学大学院 長岡技術科学大学大学院  
 金沢大学大学院 信州大学大学院 岐阜大学大学院 奈良先端科学技術大学院大学

#### ②主な就職先等

(福)飛鳥 (株)アトックス アルパイン(株) NECフィールドインクス(株) (株)大和田測量設計  
 クリナップ(株) (株)クレハ 郡山中央交通(株) JSR(株) (株)JPハイテック 常磐共同火力(株)  
 常磐興産(株) (株)デザイン (株)DUO 東京化成工業(株) 東京水道サービス(株) 東京電力(株)  
 東京電力ホールディングス(株) (株)東邦銀行 東北電力(株) 東洋エンジニアリング(株) 日新電機(株)  
 日本テキサス・インスツルメンツ(株) 日立アプライアンス(株) (株)日立製作所  
 (株)日立パワーソリューションズ 古河電池(株) 富士通(株) 本田技研工業(株) 三菱電機(株)  
 国土交通省東北地方整備局 (公財)東京都都市づくり公社 (国研)日本原子力研究開発機構  
 福島県農業協同組合中央会 福島さくら農業協同組合 (一財)ふくしま市町村支援機構  
 いわき市役所 北茨城市役所

## 9 入学時に必要な諸経費(予定)

種別	金額	備考
入学料	84,600円	入学手続き時に納入する。
授業料	117,300円	年額234,600円を2期に分けて納入する。(在学中に授業料改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。)一括納入もできます。
教科書代	未定	各専攻により別途指定します。
学生会費	8,500円	本校本科以外からの入学者は、入会金1,000円が別途必要になります。
後援会費	6,000円	本校本科以外からの入学者は、入会金10,000円が別途必要になります。

## 10 入学料・授業料の免除

### (1) 入学料免除

入学前1年以内に学資負担者が死亡し、または風水害などの災害を受け、入学料納付が非常に困難であるなどの場合は、入学料が免除される制度があります。

### (2) 授業料免除

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業成績が優秀と認められる場合、その他やむを得ない事情があると認められる場合は、授業料全額または半額が免除される制度があります。

## 11 奨学金制度

独立行政法人日本学生支援機構の規定に基づき、学業、人物ともに優れ、かつ健康であって、授業料の納付が困難であると認められる者に対し、本人の申請に基づき、選考の上、日本学生支援機構から奨学金が貸与される制度があります。

## 12 復興人材育成特別プログラム

福島高専専攻科では、文部科学省の平成23年度「大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業」に採択されたことを受け、平成25年4月から再生可能エネルギー、原子力安全、減災工学の3分野において地域復興に必要な教育を実施するため、復興人材育成特別コースを開設しました。

平成27年度から専攻科改組に伴い、「復興人材育成特別コース」は「復興人材育成特別プログラム」となり、上記3分野における地域復興に必要な教育は継続して行われます。

復興人材育成特別プログラムはどの専攻からでも選択することができます。

入学後はそれぞれの専攻、コースに所属し、専門の復興関連科目を履修することになります。

